

令和5年度に実施した中小企業振興施策を活用した事例紹介  
(青森ライフイノベーション戦略推進事業：なんぶ農援(株)(南部町))

機能性表示食品「飲む、妙丹柿酢」の開発・届出支援

【企業概要】

なんぶ農援(株)では、250年以上前から栽培されている県産の柿を活用した加工品等を製造、販売している。

【経緯と県事業による支援】

新型コロナウイルス感染症の影響で、一部の販路が途絶えてしまったことから、新たな販路開拓のため商品に付加価値を付けたいと考え、機能性表示食品の開発を決意し、県の「機能性表示食品開発モデル商品」に応募し、採択された。

年4回の商品開発会議を通じて、専門家から商品設計やラベル表示、消費者庁への届出手続きについて、助言・指導を受けた。

商品開発会議における検討内容

- ・機能性関与成分を「酢酸」とし、「酢酸」の摂取目安量を勘案しながら、商品の1日摂取目安量、商品の内容量等を設定。
- ・パッケージデザインの選定・パッケージに表示できる文言の確認。
- ・届出資料の作成支援。
- ・届出資料として必要となる機能性関与成分の研究レビュー(※)は県から無償提供。

※機能性の評価の際に、科学的な根拠を説明する手法の一つ。一定のルールに基づき文献を検索し、関与成分に機能性が認められることを総合的に評価する手法。

2月に県が開催した新商品発表会に参加し、完成した商品を報道機関向けにPRした。

＜商品開発会議の様子＞



＜商品概要＞

- ・商品名「飲む、妙丹柿酢」
- ・酢酸含有量750mg  
(1日摂取量55mlあたり)
- ・健康機能「BMIが高めの方のBMI、体脂肪率、ウエスト周囲径、内臓脂肪を減らす」

商品設計の相談

- ・商品試作
- ・成分分析
- ・商品設計の決定

- ・パッケージデザイン選定
- ・表示の確認

届出資料の確認